様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	35・清水	第１・２・３学年 歴史的分野	歴史・731	中学　歴史 日本の歴史と世界
取扱内容 （学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　歴史のとらえ方に関する内容 小学校で学習した歴史上の人物や出来事、時代毎の特色をＹチャートを用いて考えたり、各時代の特色を示すキャッチコピーを作成し発表したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　古代までの日本に関する内容 旧石器時代と新石器時代について衣食住や文化等の内容をまとめたり、世界の古代文明についてそれぞれの特徴を整理したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　中世の日本に関する内容 鎌倉時代と奈良時代の人々の生活を比較して違いについて整理したり、室町文化の中から、日本の伝統文化として現代にまで至るものをまとめたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　近世の日本に関する内容 織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された語句を使ってまとめたり、化政文化の特色を文学、演劇、絵画など、分野毎に説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　近代の日本と世界に関する内容 ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について内容をまとめたり、第一次世界大戦後の世界の国際関係がどのように変わったのかを説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　現代の日本と世界に関する内容 高度経済成長の陰で発生した問題について説明したり、冷戦後も続いている対立や、新たに起きた問題について説明したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 「各章をまとめてみよう」において、時代の流れや文化の特色、世界との関係について年表で整理したり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できる工夫がなされている。 ○　内容の分量 「歴史のとらえ方」は 9 ページ、「古代までの日本」は 52 ページ、「中世の日本」は 32 ページ、「近世の日本」は 56 ページ、「近代の日本と世界」は 102 ページ、「現代の日本と世界」は 29 ページであり、総ページ数は 280 ページで、前回より約 1%増となっている。			
使用上の配慮等	○　アイヌの人たちの歴史や文化について、「シャクシャインの像」の写真を取り上げたり、江戸末期から明治初期の北海道の様子について、「札幌農学校」の写真を取り上げたりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　「付箋マーク」において、図版などを読み取るためのヒントを提示したり、「深めよう」において、まとめ方や考え方のポイントを提示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○　日本の歴史を世界の動きと関連付けて学習できるよう、中国、朝鮮、西洋の時代区分の項目を位置付けた年表を掲載するとともに、学習を深めることができるよう、巻頭に「世界の地図」、巻末に「日本の歴史的遺産」を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいよう、読み取りやすい活字にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある教材は、アイヌの人たちの歴史・文化等について 13 箇所、北方領土について 4 ページが取り上げられている。 ○　生徒自らが主体的に取り組む研究活動やフィールドワークを取り上げ、家族・地域の人々への聞き取り調査の方法を示すなど、社会の一員としての自覚を養えるよう工夫がなされている。 ○　活字はユニバーサルデザイン・フォントを使用し、多くの生徒にとって読みやすい教科書となるよう配慮されている。			